

第 1 回課題調査

第Ⅱ部 調査結果の概要

調査結果の概要

【記載内容についての注意】

- ・ 調査結果の比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。
- ・ 複数回答の設問では、その比率(%)の合計が100%を上回ることがある。
- ・ 文中の「n」は、「Number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- ・ 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせた場合に用いる。

例：問1で「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせたものを《関心がある》と表現している。

また、この場合の比率は実際の回答数の合計から算出しており、個々の選択肢の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。

- ・ 文中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

1 食・食育（問1～問9）

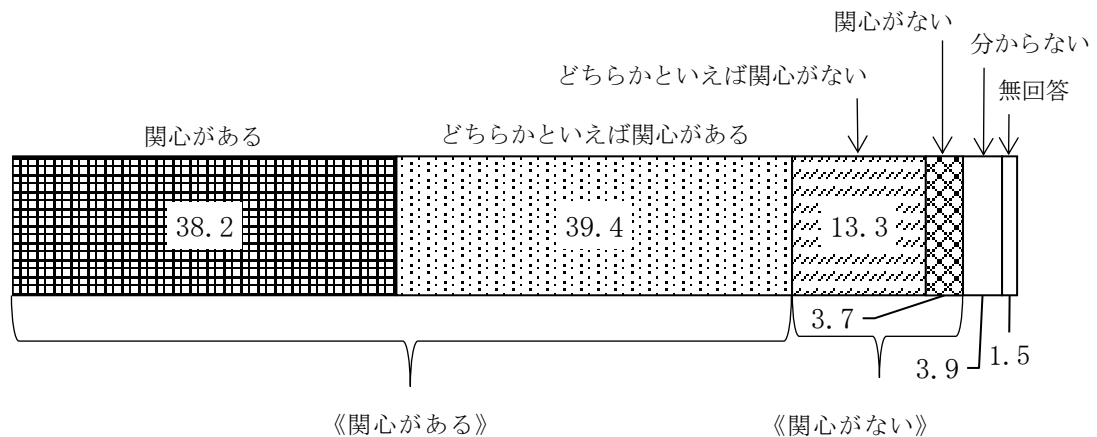
県では、未病を改善するための重要な要素である「食」について、県民一人ひとりが理解を深め、健全な食生活を実践することで、誰もが元気に笑顔で長生きできる社会の実現を目指して、「食育」を推進しています。今回、「食育」への関心などについて調査しました。

▼「食育」への関心（問1）

「食育」に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」（38.2%）と「どちらかといえば関心がある」（39.4%）を合わせた《関心がある》は77.6%であった。

一方、「関心がない」（3.7%）と「どちらかといえば関心がない」（13.3%）を合わせた《関心がない》は17.0%であった。[図表1]

図表1 「食育」への関心（n=1,407）（%）



2 食の安心・安全（問10～問12）

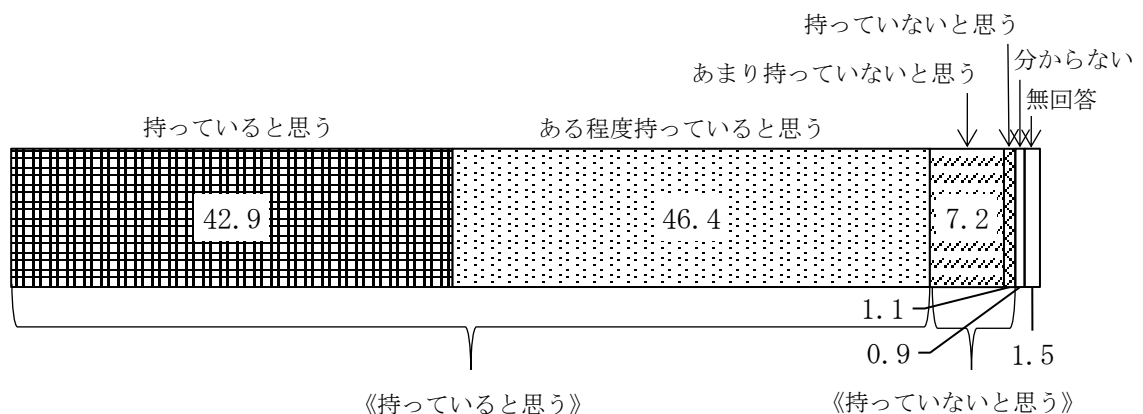
県では、県民の皆様の食の安全・安心の確保に向けた取組みを推進しています。今回、食品を安全に食べるための知識などについて調査しました。

▼食品を安全に食べるために必要な知識（問12）

食品を安全に食べるために必要な知識（例えば、調理や食事前によく手を洗う、生肉はよく加熱するなど）を持っていると思うか尋ねたところ、「持っていると思う」（42.9%）と「ある程度持っていると思う」（46.4%）を合わせた《持っていると思う》は89.3%であった。

一方、「持っていないと思う」（1.1%）と「あまり持っていないと思う」（7.2%）を合わせた《持っていないと思う》は8.3%であった。〔図表2〕

図表2 食品を安全に食べるために必要な知識（n=1,407）（%）



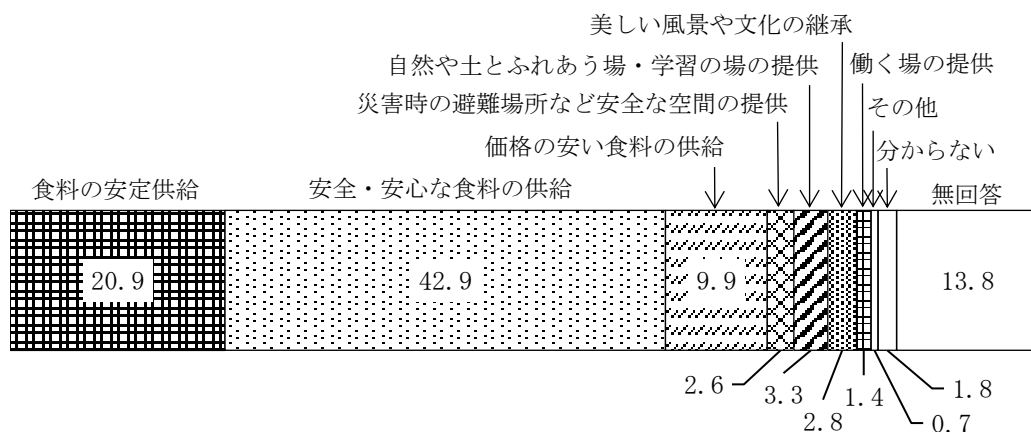
3 神奈川の農林水産業（問13～問15）

県では、都市農業の持続的な発展を図るため、地産地消の推進や多様な担い手の育成などの取組みを進めています。今回、県の農業に期待する役割などについて調査しました。

▼県の農業に期待する役割（問15）

県の農業にどのような役割を期待するか尋ねたところ、「安全・安心な食料の供給」が42.9%で最も多く、次いで「食料の安定供給」が20.9%であった。〔図表3〕

図表3 県の農業に期待する役割（n=1,407）（%）



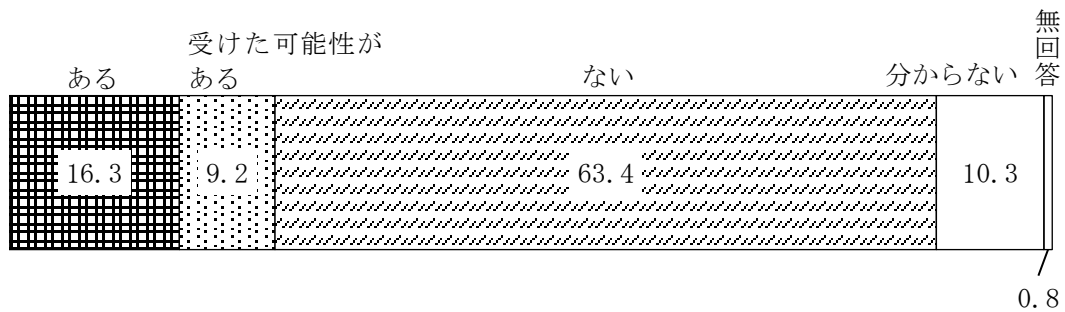
4 肝炎対策（問16～問17）

県では、神奈川県肝炎対策推進計画を策定し、肝炎治療医療費の助成など、様々な対策に取り組んでいます。今回、「肝炎ウイルス検査」の受検状況などについて調査しました。

▼「肝炎ウイルス検査」の受検状況（問17）

これまでに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがあるかを尋ねたところ、「ある」が16.3%であった。一方、「ない」が63.4%であった。〔図表4〕

図表4 「肝炎ウイルス検査」の受検状況（n=1,407）（%）



5 将来の住まい（問18～問19）

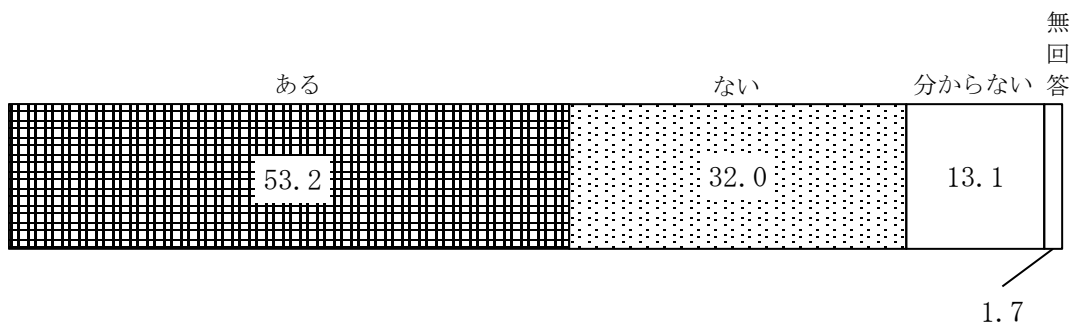
県では、人生100歳時代に向けて、全ての県民がともに支えあい、安全で安心してらせる「いのち輝く住まいまちづくり」を実現するため、地域の実情に応じた総合的な住宅施策を展開しています。今回、施策の推進に役立つため、将来の住まいに対する不安などについて調査しました。

▼将来の住まいに対する不安（問18）

高齢者の方に対しては現在、それ以外の年代の方には将来高齢者になったとき、現在の住まいに不安があるかどうかを尋ねたところ、「ある」が53.2%であった。

一方、「ない」が32.0%であった。〔図表5〕

図表5 将来の住まいに対する不安（n=1,407）（%）



6 SDGs（持続可能な開発目標）（問 20～問 21）

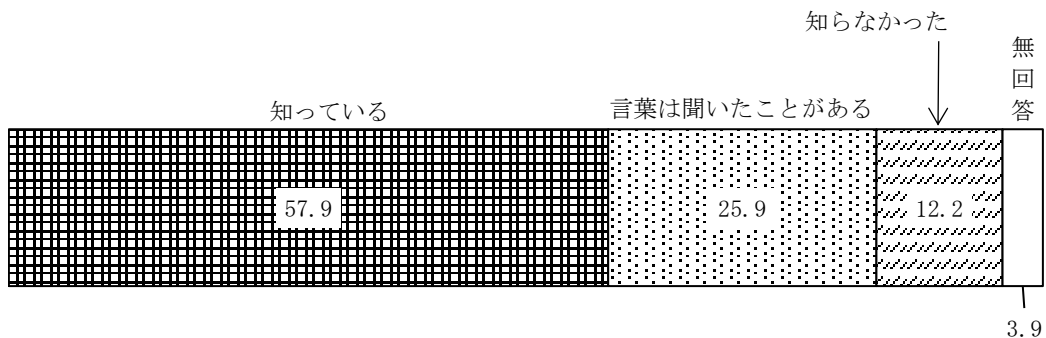
県では、「いのち輝く神奈川」の実現に向けて、持続可能な社会を目指すSDGsの推進に取り組んでいます。今回、「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」の認知度などについて調査しました。

▼「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」の認知度（問 20）

「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」について知っているか尋ねたところ、「知っている」が 57.9%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が 25.9%であった。

一方、「知らなかった」が 12.2%であった。〔図表 6〕

図表 6 「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」の認知度（n=1,407）（%）



7 とともに生きる社会かながわ（問 22～問 26）

平成 28 年 7 月に県立の障害者支援施設である「津久井やまゆり園」で発生した事件が二度と繰り返されないよう、県は、ともに生きる社会の実現をめざし、県議会とともに「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。この憲章の理念を広く県民の皆様に普及する活動を行い、ともに生きる社会の実現に向けた取組みを推進しています。今回、「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度などについて調査しました。

▼ともに生きる社会かながわ憲章の認知度（問 22）

「ともに生きる社会かながわ憲章」を知っているか尋ねたところ、「知っている」が 6.9%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が 23.3%であった。

一方、「知らなかった」が 66.6%であった。〔図表 7〕

図表 7 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度（n=1,407）（%）



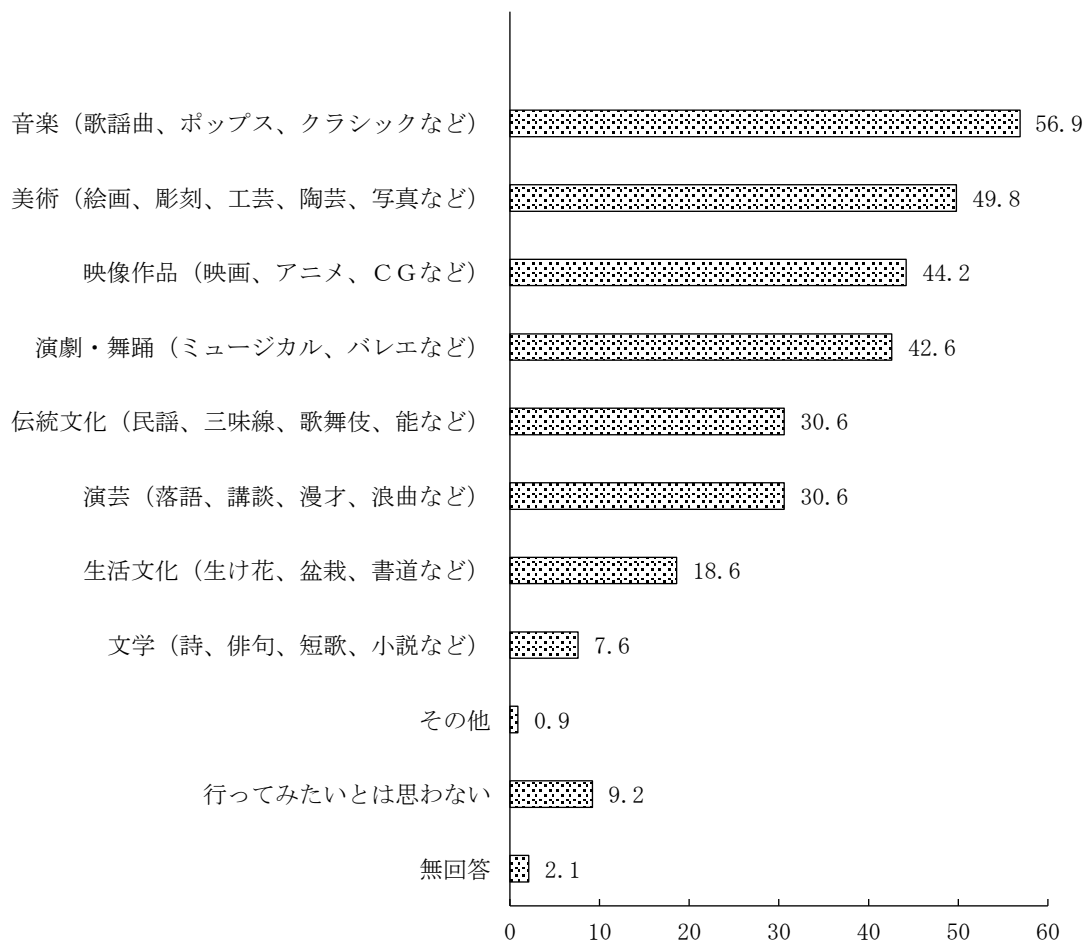
8 神奈川の文化芸術（問 27～問 30）

県では、かながわ文化芸術振興計画に基づき、県民の文化芸術活動の充実などに取り組んでいます。今回、文化芸術の鑑賞意向などについて調査しました。

▼文化芸術の鑑賞意向（問 27）

文化芸術のうち、ホールなどの文化施設での公演や展覧会へ行ってみたいと思うものを複数回答で尋ねたところ、「音楽（歌謡曲、ポップス、クラシックなど）」が56.9%で最も多く、次いで「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、写真など）」が49.8%であった。〔図表 8〕

図表 8 文化芸術の鑑賞意向（複数回答）（n=1,407）（%）



9 子どもの貧困対策（問 31～問 33）

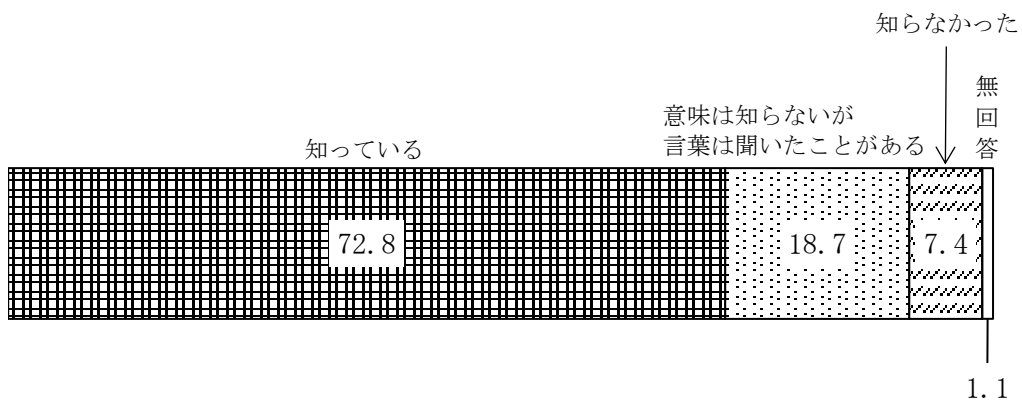
県では、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、神奈川県子どもの貧困対策推進計画を策定し、子どもの貧困対策を総合的に推進しています。今回、子どもの貧困の認知度などについて調査しました。

▼子どもの貧困の認知度（問 31）

「子どもの貧困」という言葉の意味を知っているか尋ねたところ、「知っている」が 72.8%であった。また、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」が 18.7%であった。

一方、「知らなかった」が 7.4%であった。〔図表 9〕

図表 9 「子どもの貧困」の認知度（n=1,407）（%）



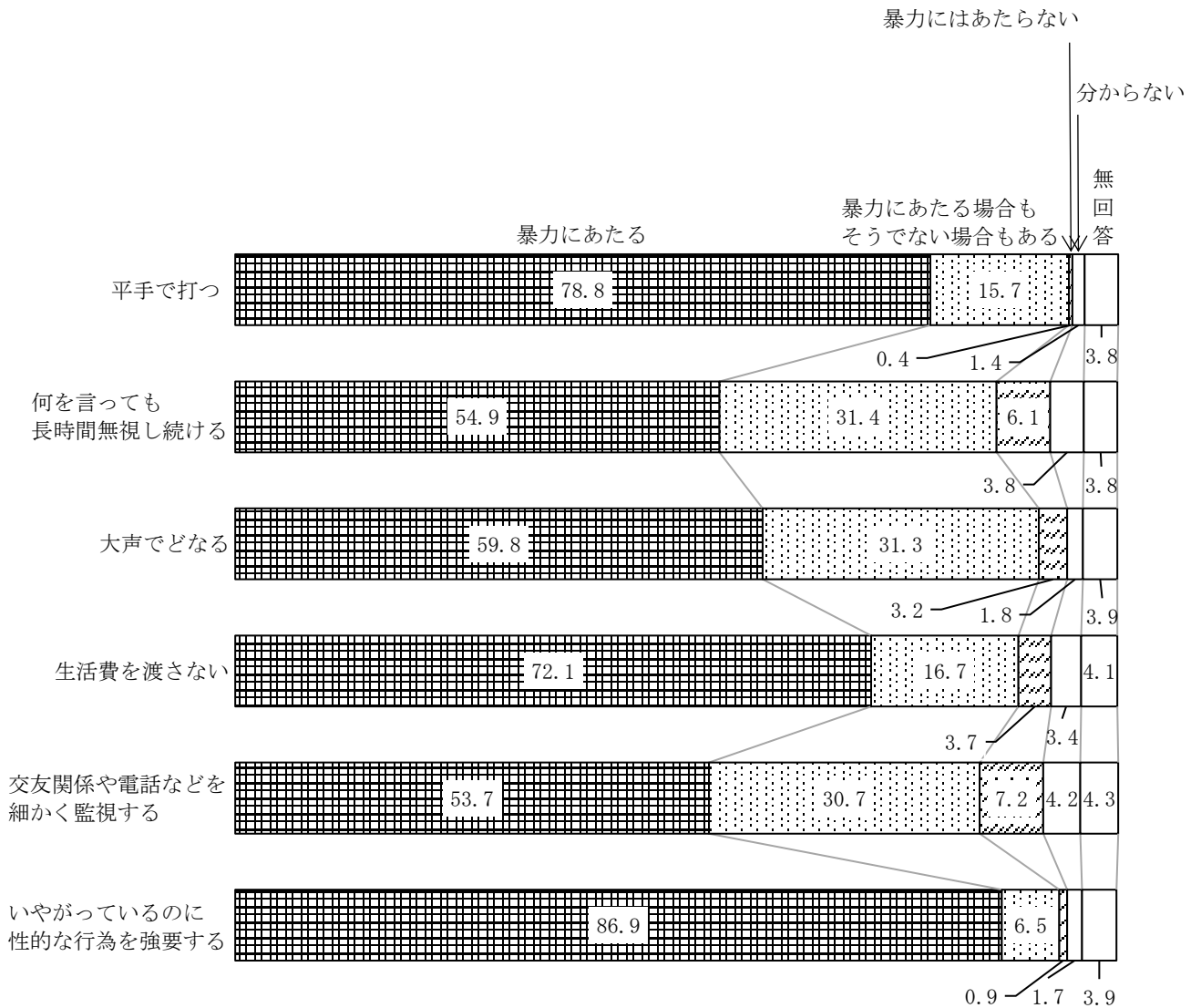
10 配偶者等からの暴力（問34～問35）

県では、かながわDV防止・被害者支援プランに基づき、DV被害者への支援の充実に加え、DV防止の取組みの強化を図っています。今回、夫婦間での暴力行為における暴力（DV）としての認識などについて調査しました。

▼夫婦間での暴力行為における暴力（DV）としての認識（問34）

夫婦（事実婚や別居中を含む）の間で行われた暴力について6項目を示し、それぞれ暴力（DV）だと思いか尋ねたところ、「暴力にあたる」では、「いやがっているのに性的な行為を強要する」が86.9%で最も多く、次いで「平手で打つ」が78.8%であった。〔図表10〕

図表10 夫婦間での暴力行為における暴力（DV）としての認識（n=1,407）（%）



11 地域社会との関わり（問 36）

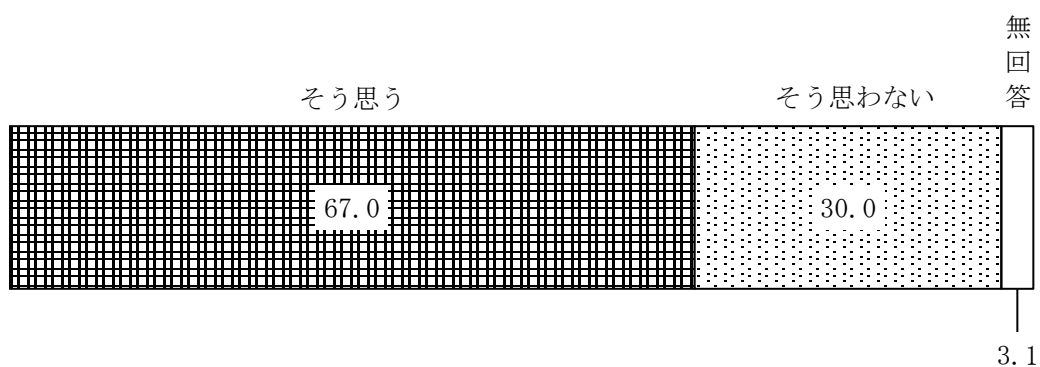
県ではコミュニティ再生・活性化に向けた取組みを進めています。今回、地域社会との関わりに関する意識について調査しました。

▼地域社会との関わりを大切にする意識（問 36）

長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしているか尋ねたところ、「そう思う」が 67.0%であった。

一方、「そう思わない」が 30.0%であった。[図表 11]

図表 11 地域社会との関わりを大切にする意識（n=1,407）（%）



12 治安対策（問 37～問 39）

県警察では、県民が身近に不安を感じる犯罪の抑止・検挙活動を始めとした各種警察活動を推進し、県民の皆様が安全で安心してくださる地域社会の実現に努めています。今回、不安を感じる犯罪などについて調査しました。

▼不安を感じる犯罪（問 37）

身近で発生する可能性がある犯罪のうち、不安を感じるものを複数回答で尋ねたところ、「特殊詐欺」が 56.9%で最も多く、次いで「空き巣」が 54.9%であった。〔図表 12〕

図表 12 不安を感じる犯罪（複数回答）（n=1,407）（%）

